

月照院殿花嶽英心大居士ト号ス

家親ノ子（義光五男）江州大森移ル二十六歳ニ於江

戸ニ死去其時義俊ノ子息形部義智ニ歳ナリ

義光嫡男修理大夫義康 慶長八年癸卯八月十六日

常念寺殿補天錦公大居士ト号ス

寛文二年壬寅六月五日

権左院殿華柳寺紅大姉 淑靈

家親室西三條右大臣女 牌所江戸淺草萬福寺

最上盛衰記卷之上

最上義光公系圖并高湯温泉入湯之事

出科國山形の城主最上出科守源義光ト申此先祖を尋

るに清和天皇此後胤鎮守府將軍兼陸奥守源義家朝

臣ト出テ義家の五男式部大輔義國其子足利判官義

康其子上總介義宣其子左馬頭義氏其子宮内少輔泰

氏其子斯波尾張守家宗其子小太郎宗氏其子伊豫

守兼家其二男を修理大夫兼頼公ト申是を最上家代

祖ト云也此兼頼公奥州大崎郡斯波ト云所を領しむる

後光嚴院の御宇足利將軍の在世延文元年丙申七月